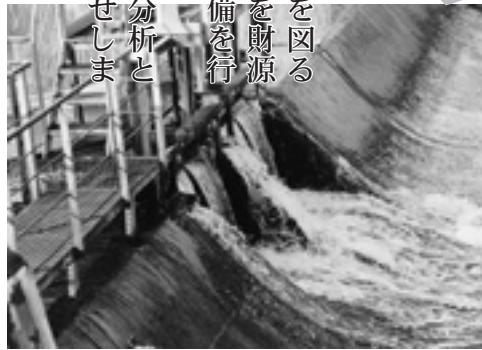


水道事業の経営を 見てみよう

市は、安全で良質な水道水の安定供給を図るため、みなさんが納付する水道料金などを財源として、毎年度、計画的に水道施設の整備を行っています。

今月号は、平成15年度の決算に基づく分析と平成16年度の予算執行状況などをお知らせします。



平成15年度の 損益計算書

【8ヶ表1】の損益計算書は、1年間（平成15年4月～平成16年3月）に得た収益とそれに対する費用を表したもので、その期間中にどのような経営によって、どれだけの成績（純利益または純損失）を上げたかを示したものです。この計算書に基づいて過去の経営を分析し、将来の方針をたてることができます。

『収入の部』は、事業の最大の商品である『水道水』が約92割を占めています。そのほかの8割は、新築時における給水設備の新設負担金や下水道使用料の徴収受託料などです。

一方、『支出の部』は、室蘭市からの水の購入費、配水管などの維持管理費、人件費などの営業費用が約80割を占めています。そのほかの20割は、国などからの借入金に対する支払利息などです。

この結果、収入が支出を7千600万円上回っているため、平成15年度は平成13年度以降3年連続で『黒字』となりました。

決算に基づく 経営分析

水道事業は、税金を財源としている一般会計などと違い、水道料金を主な財源として独立採算制で運営する『公営企業』です。

水道水はおいじい！

～利き水アンケートを実施しました～

市は、10月13日(水)・14日(木)の2日間、市民会館で開催された『第27回登別消費生活展』で『利き水アンケート』と『水道水ができるまでのパネル展』を実施しました。

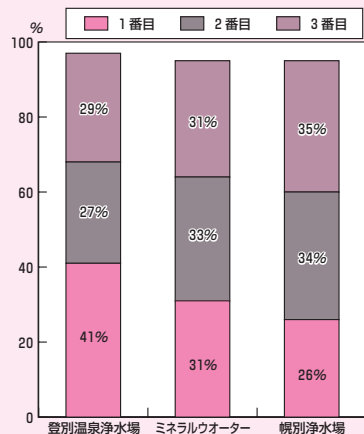
ここでは、利き水アンケートの結果についてお知らせします。

◎方法 幌別浄水場、登別温泉浄水場の水道水、ミネラルウォーター（日本製）の3種類の水で利き水を行いました。紙コップに3種類の水を入れ、これを参加者に飲み比べてもらい、おいしいと感じた順番に回答してもらいました。

◎結果 203人の方が参加し、3種類の中で一番おいしいと回答した割合が高かったのは、グラフのとおり登別温泉浄水場の水道水で、以下、ミネラルウォーター、幌別浄水場の水道水という結果でした。

水道水2割当たりの値段は、一般家庭の平均使用量で換算するとなんと約0.35円（税込）という安さです。市販されているミネラルウォーターと比較してみてください。

これからも、安くておいしい『のぼりべつの水道水』をどうぞご利用ください。



※順位の判別がつかない回答があったため、各順位の割合が100%となっていません。

その経営の原則は、民間企業のように常に合理的かつ能率的な活動が求められています。

このことから市は、決算に基づきさまざまな数値を使い、経営に関する分析を行っています【8ヶ表2】。

平成16年度の 予算執行状況

4月から9月までの予算執行状況は、【8ヶ表3】のとおりです。

【営業活動にかかる収支】

収入は、水の売り上げが平成15年度と同程度となっており、執行率は

約48割となっています。

一方、支出は、予算の約50割が年度末に経理を行う減価償却費や支払利息などの経費のため、執行率は約29割となっています。

【施設整備にかかる収支】

収入は、予算の約99割が国などからの借入金であり、また、そのお金は年度末に交付されるため執行率は0割となっています。

一方、支出は、配水管の整備事業水道メーターの購入および借入金の償還などにより執行率は約42割となっています。